

## 2 中学校 美術科 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 次の1～4に答えなさい。

1 次の表は、美術教育における業績を残した人物について説明したものです。表中の(a)～(c)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

人物名	説明
(a)	明治11(1878)年、アメリカから東京帝国大学の教師として招かれたフェノロサとともに日本の伝統美術復興運動を起こし、のちに東京美術学校の校長となった。
(b)	DBAE理論に基づく美術教育カリキュラムの先駆となった、「スタンフォード・ケタリング・プロジェクト」と呼ばれるカリキュラムを開発した。
山本 鼎	大正時代、手本となる図を模写させる臨画主義の図画教育を批判し、児童中心主義的な「(c)教育」と呼ばれる運動を起こした。

2 次の(ア)～(ウ)は美術に関する言葉です。その意味をそれぞれ簡潔に書きなさい。

(ア) モビール (イ) 孔版 (ウ) 乾漆

3 次の文章は、鑑賞の手法について述べたものです。文章中の(a)～(c)にあてはまるものを、下の(ア)～(ク)の中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

対話による鑑賞は、我が国では(a)の活動によって広く知られるようになった鑑賞の手法である。鑑賞者が主体的に作品にかかわることができる方法として、学校の授業や美術館の(b)などで取り入れられている。また、近年では複数枚の作品の印刷物を使い、気に入った作品を紹介し合ったり、作品の共通点を見つけて説明したりするなどの(c)を取り入れた鑑賞の手法も広がりを見せている。

(ア) ブルーノ・ムナーリ	(イ) アートゲーム	(ウ) ダイアグラム	(エ) パブリックアート
(オ) ギャラリートーク	(カ) アメリア・アレナス	(キ) ポートフォリオ	(ク) ハーバート・リード

4 次に示す作品について、下の(1)・(2)に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

作者名 [尾形光琳 1658～1716]

(1) 作品名を書きなさい。

(2) この作品を含む流派を書きなさい。また、その作風を簡潔に2つ書きなさい。

## 2 中学校 美術科 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

2 第2学年において、学校の中庭に設置することを目的としたベンチの模型を制作する学習を、6時間で行うこととします。また、制作に当たっては、紙粘土を使用し、ポスターカラーで着色することとします。これに関して、次の1・2に答えなさい。

1 生徒の着想を広げるために、あなたが参考作品としてベンチの模型を制作し、生徒に提示する場合、どのようなベンチの模型を考えますか。あなたが考える作品を描くとともに、その制作意図について簡潔に書きなさい。

2 生徒が制作したベンチの模型をお互いに鑑賞する学習を行うこととします。生徒が作品に対する自分の価値意識をもって、お互いに批評し合うことができるようにするためには、どのように指導することが大切ですか。簡潔に2つ書きなさい。

3 第1学年において、「自己を見つめて」というテーマでケントボードに透明水彩絵の具を使用して自画像を制作する学習を行うこととします。これに関して、次の1・2に答えなさい。

1 発想の段階において、生徒が自分らしさを見つめることができるようにするために、どのような指導を行いますか。簡潔に3つ書きなさい。

2 透明水彩絵の具の特長を生かして着彩する方法にはどのようなものがありますか。簡潔に2つ書きなさい。

4 次の図は、平成29年3月告示の中学校学習指導要領 美術 第4 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項 における「A表現」の指導計画の一部を示したものです。これに関して、下の1～3に答えなさい。

A表現	(1)アと(2)		(1)イと(2)	
	感じ取ったことや考えたことなどを基に、 絵や彫刻などに表現する活動		伝える、使うなどの目的や機能を考え、 デザインや工芸などに表現する活動	
学年	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年				
第3学年				

1 指導計画作成上の配慮事項には、「各学年の内容の「A表現」については、(1)のア及びイと、(2)は原則として関連付けて行い、(1)のア及びイそれぞれにおいて描く活動とつくる活動のいずれも経験させるようにすること。」と示されています。ここで示されている「A表現」の(1)と(2)の項目は、どのような資質・能力のことですか。それぞれ簡潔に書きなさい。

2 第1学年の「A表現」の指導計画の作成に当たっては、年間45単位時間の中で、描く活動とつくる活動をいずれも扱うようにすることと示されています。年間45単位時間の中で、「A表現」の全ての指導事項の定着を図るようするためには、どのようなことに留意する必要がありますか。簡潔に1つ書きなさい。

3 第2学年及び第3学年の「A表現」の指導計画を作成することとします。指導計画作成上の配慮事項を踏まえた内容となるように、第1学年の解答例にならい解答欄に○を用いて、それぞれ書きなさい。

5 透明なガラスのコップを持った手を想像し、鉛筆で陰影をつけて、立体感や質感が現れるようにデッサンしなさい。

2

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
1	1	(a)		
		(b)		
		(c)		
	2	(ア)		
		(イ)		
		(ウ)		
	3	(a)		
		(b)		
		(c)		
	4	(1)	流派	
			作風	
		(2)		

2

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
2	1	制作意図	
		作品	
	2		

2

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄				
3	1					
	2					
4	1	(1)				
		(2)				
	2					
3	A表現	(1) アと (2)		(1) イと (2)		
		感じ取ったことや考えたことなどを基に、 絵や彫刻などに表現する活動		伝える、使うなどの目的や機能を考え、 デザインや工芸などに表現する活動		
		描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動	
		第1学年	○	○	○	○
		第2学年				
第3学年						

2

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄
5	